

公務員が人を雇う ファンキーな方法

まいどヒロキンです。

今回のレポートでは
僕が人をどうやって雇っていったかってのを
お話ししたいと思います。

僕は、公務員時代に外注化しました。

雇われながら雇っていました。

意味わからんでしょ？w

でも、記事を全部読んでくれたら意味分かります。

公務員でも、会社員でも人は雇えますよ。

というか、軽くお願いするだけですけどね。

それでもネットビジネスを始めて

いきなり人を雇ったんですから、

最初はもう訳わかりませんでした。

記事作ってもらうにも、記事書いたことないしw

ネットビジネスを初めて0ヶ月で
公務員にも関わらず、いきなり人を雇うなんて
クレイジーすぎる。

しかし、そんなお茶目な行動をとったのには
訳があったのです。

なぜなら社畜には記事書く時間がなかったのです（泣）

公務員とか働いてる人って、
副業の時間捻出するの大変だと思います。

よっしゃリタイヤに向けて副業するぞーって
気合い入れても、
1日2、3時間が関の山とちゃいますか？

だからもっとも時間のかかる、

サイトに投稿する記事を書いてくれる人を探しました。

何も知らない状態で、いきなり人を雇いました。

なぜそんなクレイジーなことをしたのか？

それは、僕が初めて行った
ネットビジネスのセミナー講師が
「人雇った方が楽ですよ」
と言っていたからです。

「いきなり公務員が人雇うってどういうことやねん？」
「てかどんなセミナーやったの？」

と疑問に思う方もいると思うので、

初めてネットビジネスのセミナーに言った時の話を
さくっと面白い物語にしてみました。

<http://hirokin001.com/100man/>

僕は、公務員を辞めたい一心で
ネットビジネスの高額セミナーに申し込みました。

お値段なんと15万円。

目ん玉が飛び出るほどの高額にちびりましたが、
人生を変えるなら安いもんだと
宝物だったカメラを売ってなんとか15万を
捻出して参加しました。

ネットビジネスで成功して退職したい。

まだこの世界のことを信じきれなかった僕は、リアルで成功者の話を聞きたいと思い、セミナーに参加しました。

そこで、ネットビジネスやるなら、サイトアフィリエイトが一番安定してやりやすいと聞きました。

サイトアフィリエイトとは簡単にいうと、サイトを作って、そこで商品を紹介して、紹介料をもらうビジネスモデルです。

これは、価格.comとか旅行サイトとかと同じです。

自分のサイトからお客さんが商品を購入してくれたらバックマーゲンを頂ける。

これが多くなると月100万を超えてくるというビジネスモデルでした。

しかし、このサイトアフィリエイトのデメリットは、「記事を書くのが鬼めんどくさい」ということでした。

だいたい100記事から300記事位で成果が現れるという感じでした。

「100記事、、、いやムリ————！そんな時間ないし。」

読書感想文とか書くのめっちゃ嫌いやのに
絶対無理やと思いました。

それにだいたい1記事あたり
最低1000字から2000字以上書かなあかんとのこと。

「働いていてそんな時間ないし、
それに面倒くさいしやってられんわ。」

というのが
このサイトアフィリエイトビジネスの最初の印象でした。

しかし、この僕の嫌な気持ちは
あるセミナー講師の一言で吹っ飛びました。

「外注化して人を雇って
記事書いてもらったらいじゃないですか」

「はい？なにそれ？人雇えんの？
全部記事書いてもらえばいい？
そんなんありなん？じゃあ、めっちゃ簡単やん。」

しかし同時に色んな不安が出てきました。

「でもどうやって人雇うの？
てか記事の書き方知らんねんけど。
サイトの作り方知らんし。」

そういうクエスチョンがいっぱい出てきました。

そんな時に
セミナー講師は色々と解決策を教えてくださいました。

次の日、僕はちょっと高かったけど投資だと思い、
外注化が詳しくわかる教材を買ってみました。

その教材にはこんなことが書いてました。

1. まずはサイトを作る
2. 記事の書き方を覚える
3. 人を雇う
4. 雇った人に書き方を教える
5. 記事内で商品を紹介する
6. 商品が売れたら利益が出る

簡単に言うところな流れでした。

「なるほどねーこれなら時間のない僕でもできそうやな。
まずはサイト設営して、記事の書き方覚えたらいいんやな」

ってことで、
教材に書いてある通りに進めて行きました。

なんとかサイトを設営して、
記事の書き方もなんとなく覚ええました。

そして
雇いたい人と雇われたい人が
出会える誠実なマッチングサイトに登録してみました。

登録して、早速募集して見たら速攻返信。

ピローーーーッん。

「うわ、どうしよう。
もし雇っても記事の書き方あんまり知らんし
どうやって書いてもらおう」

と思いましたが、
どうとでもなれ精神でまずは雇ってみました。

初めての外注化で最初は2人雇ってみました。

最初は相場がわからず、とりあえず
1記事500円で雇ってみました。

数日したら

ぴろーーーーん

「記事できました」

って連絡。

「うわーーーーめっちゃ楽やーーーー」
「サイトって自分で作らんでも
人に作ってもらったらいいなや」

そして僕はそこから調子に
乗って雇う人数を増やして、
結局30人まで増やしました。

すると一瞬で数百記事のサイトができました。

そしてそのサイトは数万円から数十万円のお金を
現在も口座に振り込んでくれています。

これが具体的な仕組み化。

「サイトの外注化」

これは、、、儲からんわけがないんです。

しかも、失敗しても、
もしサイトが儲からなくなっても、
自分が時間を割いて作ったわけでもないし、
痛くもかゆくもない。

「すごいな外注化。
ずっとこうやってサイトを何個も作り続けられればいいんか。」

しかし、問題は雇うお金です。

最初は1記事500円で雇いました。。

だいたいサイトが収益化されるのが

100記事とすると、
5万円かかる。

記事作成の相場はだいたい1文字1円と言われていて、
1記事あたり約1000-2000字と考えたら、
1記事あたり約1000-2000円。

そう考えたら5万円でも安い。

しかし、たくさんサイト作ろうと思ったり、
記事を増やそうとしたら、
結構なお金がかかります。

なんとかもっと安くする方法はないか。

そして、試行錯誤しまくった結果、

とうとう
無料で人を雇うというファンキーな方法を
編み出してまったのです。

無料で、月数十万円の利益が発生するサイトを
人に無料で作ってもらう。

こんなん、ありなんですよ。w

この方法を考え出したのはおそらく僕しかいないと思います。

そんな常識ぶっ壊した方法、
無料で人雇うとか意味わかりませんからね。

もう少し工夫すれば、
逆にプラスになることもあります。

雇ったのにお金もらうとか意味不明ですね。
でもできちゃったんですよ。

こうすると、
自分がすることって極端に少なくなっちゃうんですよ。

自分がすることは

- 外注さんの管理
- ジャンル選定
- キーワード選定
- 商品選定
- 分析

とかなんですけど、

これもまたぜーんぶ外注化していくんですけどね。

自分がやることは究極、

外注さんにお金支払うだけです。

こればかりは任せられませんからねw

その辺の総合的なやり方は
企画としてメルマガで案内しています。

もし興味ある方はメルマガの案内見逃さずに。

明日か明後日くらいに案内流すつもりです。

今回は以上です。

ほな。